

コンサート



「ミュージアム・コンサート
有元利夫によせて」

2010年3月6日(土)

出演：立花千春(フルート) 山田武彦(ピアノ)



「ミュージアム・コンサート ロシアの心」

2009年11月14日(土)

出演：岸本力(バス歌手) 毛塚功一(ギター)

平成21年度後半には、「国立トレチャコフ美術館展 忘れえぬロシア」と「没後25年 有元利夫展―天空の音楽―」のそれぞれにあわせてコンサートを開催。晩秋の夜空にロシア民謡が響いた「ロシアの心」では、終盤にはおなじみの曲を会場全体で合唱して盛り上がりました。また「有元利夫によせて」では、音楽を深く愛した画家が好んだ曲やそんな画家へのオマージュとして捧げられた曲など多彩な内容でお楽しみいただきました。

ワークショップ



「サンドブラスト技法を楽しむ」

2010年3月27日(土) 10:00~17:00

講師：安田れい子さん(ガラス作家)

サンドブラストの技法を用いて、石やガラスでペーパーウェイトなどを制作。個性豊かな作品ができあがりました。



春休み親子ワークショップ

「ふしぎな「からくりボックス」を作ろう!」

2010年3月21日(日) 10:00~15:00

講師：斎藤真紀さん(造形作家)、斎藤裕子さん(造形作家)

所蔵作品「おびからくり」(版画家・秋山泰計作)の原理を使って紙の立体作品に挑戦する第2弾。多くの親子連れでにぎわいました。



「初心者のための木口木版画」

2009年10月3日(土)、4日(日) 10:00~17:00

講師：野口和洋さん(版画家)

「版で発信する作家たち2009」関連事業として、ふだんはあまり経験する機会のない木口木版画に親しむための講座。



Jimmy SAKURAIさんによるギタークリニック

6月6日(日)



鮎川誠さんとシーナさんによるトークショー

6月12日(土)

人から出品されたステージ衣装やエレキギターなども多数展示され、大勢のファンが訪れていました。展覧会の関連行事として、公開ワークショップ「Jimmy SAKURAI 狂熱のクリニック」を開催し、エレキギター奏法の実演と解説をおこないました。「天国への階段」「レイン・ソング」などのレッド・ツェッペリンの名曲のギター奏法の実演で、会場は熱狂の渦に巻き込まれました。また、トークショー「60'sロック談義」では、シーナ&ザ・ロケッツの鮎川誠さんとシーナさんによる対談を開催。ビートルズやローリングストーンズの音楽と出合った時の衝撃や、お二人のロックミュージックにかける熱い想いを語っていただきました。(佐藤 秀彦)



米をはじめ世界のミュージック・シーンに大きな影響を与えたのです。本展には、エレキギターやアンプなどの楽器やレコードジャケットがずらりと並び、当時を振り返ることができました。さらに、レッド・ツェッペリンのギターリストであったジミー・ペイジ氏本